



3月19日に行われた開幕戦では見事3位を獲得(左写真⑥)ジュニアクラスに入り初のシリーズだが手ごたえを感じられるものだった。



Public relations
OZU TOWN

広報おおづ 2017 4

発行・編集 ■大津町・総務課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油墨を使用しています。

UD FONT
風やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



「走っているときは
何よりも楽しい」

ほんだ りゅうし
本田 龍史さん(大津)

レーシングカートを自在に操る中学2年生。そんな本田さんをクローズアップする。

出会いは小学校1年生の頃。南関のサーキット場。父と見に行ったイベントの時だった。大きなエンジンの音、滑るように移動するカート。驚きと感動で胸が震えた。初めてカートに乗ったのは小学校3年生。耳元で聞こえるエンジン音のあまりの大きさに体がすくんだ。だがすぐに虜になった「速く走るのが楽しい」。車の形をしているが操作は車とは全く別物。クラスはジュニア。そういつても車体やエンジンには大人用とほとんど変わらない。

カートは直線距離では時速100kmを超えても、着座位置も非常に低いため体感速度は実際の速度の2〜3倍。身を守るのはヘルメットと胴回りのプロテクターだけ。常に危険と隣りあわせだ。

より技術が試されるのはコーナー。繊細なハンドル操作と体重移動で車体ごと曲がる。シートベルトはなく遠心力で体がコース外に飛び出しそうになるのを体の筋力だけで踏みとどまる。それに他の競技者との心理的な駆け引きも加わる。車体同士が時には接触してしまうことも。1レース16周を終えると頭と体はくたくたになる。

「目標は表彰台に上がり続けること」。シーズン中、週1回の練習は山鹿市や長崎県、大分県のコースに向かう。朝から夕方までの練習でコースやマシンの調子を確かめながら技術を磨く。

3月19日、RMC九州シリーズが今年も開幕した。九州の頂点のあとは全国、次は世界だ。言葉少なく「ライバルはみんな」と語る本田さん。目の前には世界へとつながるコースが見えている。夢に向かってひたむきに前へ。

こころの声

▼熊本地震から今月で1年。明るい話題も増えてきました▼本田さんの取材は山鹿市の山奥。練習コースに行きました▼声が掻き消えてしまうほどのエンジン音と速さ。一周900mを約33秒。驚きの連続でした▼そしてこの1年もすごい早さで駆け抜けた1年でした。一日も早い復興のために頑張ります▼合同特集の取材では備えと防災を多く学んできました。これならできると皆さんに思っていただけ実践していただけるとうれしいです(WIDEO)

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。
QRコード
登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報
おおづ

4

APRIL 2017

熊本地震の経験
生かしていますか?

「171」に電話したら
どこにつながる?



防災術

Kikuchi area public relations
菊池地域
合同特集

熊本地震から学ぶ
家庭でできる

もしものときの
備蓄食料って
何日分必要なの?



お湯を沸かしていたら
地震がきた!
そんなときどうする?



避難グッズを入れた
「非常用持出袋」。
どこに置いたら
いいんだろう?

